
令和 5 年度
事業計画書

【総括版】

社会福祉法人東北福社会

令和5年度 社会福祉法人東北福祉会 事業計画（案）

1. 法人全体の取り組み

目 標	<p>下記3点の取り組みを中心に、法人の財政基盤立て直しと組織体制の強化を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財務状況の立て直しと安定した経営のために、法人経営（資金）計画を策定する。 2. 令和4年度に策定した中期行動計画の実践と事業運営体制の見直しを図る。 3. 拠点を横断したチームを組成し、現行の各会議も含めて、それぞれの役割分担を明確にするとともにその活動の充実を図る。 																								
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人経営（資金）計画の策定 法人の理念を実現するためには、現状の財政基盤の立て直しが急務であるため、その取り組みを計画的に実行するための計画を策定し、法人のありたい姿の実現を目指す。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 単年度の資金計画に加え、中・長期的な視点を持つための計画づくり。 (2) 法人事業存続のために、設備投資や修繕など将来費用を見越した計画づくり。 (3) 介護保険制度等の改正対応も含め、法人事業の再編を見越した計画づくり。 2. 中期行動計画の実践と事業運営体制の見直し 法人理念を追求するためにさらなる理念の浸透を図り、法人の進む方向を定め、取り組みを効果的に進める。 <ol style="list-style-type: none"> (1) 役割を明確にするため、「委員会」体制を「チーム」体制とする。（下記参照） (2) 中期行動計画を効果的に進めるため、各チームの役割を明確にする。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>法人運営環境整備チーム</td> <td>規程整備、法制度対応、情報システム対応、内部監査</td> </tr> <tr> <td>人財採用チーム</td> <td>職員採用（新規・中途）</td> </tr> <tr> <td>人財育成・評価チーム</td> <td>職員研修、人財評価</td> </tr> <tr> <td>管理業務チーム</td> <td>人事労務、経理、安全衛生</td> </tr> <tr> <td>事業運営・企画チーム</td> <td>BCPの推進、各サービス稼働状況のチェック、新規事業の企画検討</td> </tr> </tbody> </table> 3. 各会議の役割を明確にし、会議運営の効率化を図る。（下記参照） <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">名称</th> <th style="text-align: center;">役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>安全衛生委員会代表者会議</td> <td>各拠点における安全衛生活動の推進</td> </tr> <tr> <td>総務部長会議</td> <td>会計・総務業務等の推進</td> </tr> <tr> <td>BCP 策定 WT</td> <td>BCPに基づく訓練、研修の推進</td> </tr> <tr> <td>支援系部長会議</td> <td>サービス提供内容の</td> </tr> <tr> <td>地域支援担当部署会議</td> <td>・中期行動に基づく取組</td> </tr> </tbody> </table> 	名称	役割	法人運営環境整備チーム	規程整備、法制度対応、情報システム対応、内部監査	人財採用チーム	職員採用（新規・中途）	人財育成・評価チーム	職員研修、人財評価	管理業務チーム	人事労務、経理、安全衛生	事業運営・企画チーム	BCPの推進、各サービス稼働状況のチェック、新規事業の企画検討	名称	役割	安全衛生委員会代表者会議	各拠点における安全衛生活動の推進	総務部長会議	会計・総務業務等の推進	BCP 策定 WT	BCPに基づく訓練、研修の推進	支援系部長会議	サービス提供内容の	地域支援担当部署会議	・中期行動に基づく取組
名称	役割																								
法人運営環境整備チーム	規程整備、法制度対応、情報システム対応、内部監査																								
人財採用チーム	職員採用（新規・中途）																								
人財育成・評価チーム	職員研修、人財評価																								
管理業務チーム	人事労務、経理、安全衛生																								
事業運営・企画チーム	BCPの推進、各サービス稼働状況のチェック、新規事業の企画検討																								
名称	役割																								
安全衛生委員会代表者会議	各拠点における安全衛生活動の推進																								
総務部長会議	会計・総務業務等の推進																								
BCP 策定 WT	BCPに基づく訓練、研修の推進																								
支援系部長会議	サービス提供内容の																								
地域支援担当部署会議	・中期行動に基づく取組																								
主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定																									
特になし																									
主な事業内容等																									
<ol style="list-style-type: none"> 1. 法人組織強化のための会議等の開催 <ol style="list-style-type: none"> (1) 理事会の開催／年3回開催予定 (2) 評議員会の開催／年3回開催予定 (3) 監事監査の実施／年2回実施予定 (4) 会計監査人監査／期中監査（2回）・期末監査 (5) 内部監査委員による監査の実施／年1回実施予定 (6) 会計監査人と理事長等の情報交換会の開催／年1回開催予定 (7) 法人監事と会計監査人の情報交換会の開催／年1回開催予定 (8) 法人監事と理事長等の情報交換会／年1回開催予定 2. 中期行動計画の実践、経営基盤体制の検討に向けた会議 <ol style="list-style-type: none"> (1) 経営会議の開催（原則として月2回の開催） (2) 総務部長会議の開催（原則として月1回の開催） (3) 支援系部長会議の開催（必要に応じて開催） (4) 各委員会・ワーキングチームによる会議の開催（原則として月1回の開催） (5) その他各担当者等会議の開催（必要に応じて開催） 																									

2. せんだんの杜の取り組み

目 標	<p>1) 利用者一人ひとりの生活支援に取り組み、子どもから高齢者までそれぞれの、“その人らしい暮らしの継続”を実現する。</p> <p>2) これまでの経営方法を見直し、収入の安定と支出の抑制にさらに取り組みながら、安定的な経営・運営につなげる。そのうえで、ご利用者の豊かな生活に還元ができる支援を実行する。</p> <p>3) これまでの感染症対応で得た知識と取り組みを活かし、新たな事業の発掘や展開、停滞していた地域活動の再開を順次行い、地域との充実した関係作りを行う。</p> <p>4) 社会的な福祉ニーズの掘りおこしを継続しながら、新規事業を含めた事業展開を行う。</p> <p>5) 行学一如の建学精神に基づき、東北福祉大学の実学実習生、並びに専門職養成課程における実習生を中心とした育成に力を尽くすととともに、研修、研究、調査等の大学と更なる効果的な連携を強化する。</p>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>① 子どもや高齢者などの各領域において、「人として心と暮らしの環境作り」と「利用者一人ひとりの生活支援」の充実を図る。</p> <p>② 高齢者福祉部門と児童・障がい福祉部門の一本化を図る。</p> <p>③ 職員みんなが一丸となり、理念の実現と安定的経営に向け、事業運営に取り組む。</p> <p>④ コロナ禍で停滞していた認知症カフェ、運営推進会議等、地域とともに共同で取り組む催し等について、状況判断を適切に行うながら再開する。</p> <p>【地域公益活動】</p> <p>① 社会的ニーズを見極め、地域住民や様々な社会資源と共にその課題の共有を図る。</p> <p>② 社会福祉に関わる養成校等の実習、ボランティア等の受け入れを積極的に行い、次世代の福祉・介護人財の育成を行う。また、実りある実習等を提供することで人財獲得ができるよう取り組みを実施する。</p> <p>③ 地域や関係機関等との連携を強化し、地域に開かれた事業を行う。</p>			
主な修繕・改修工事等、備品等購入の予定				
「令和5年度当初予算における「せんだんの杜」設備整備工事等について」に別記				
事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、令和5年1月末時点での利用率）				
No	事業所名	定員 (人)	令和5年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームリベラ荘（従来型）	36	96%	94%
2	同上（ユニット型）	18	94%	88%
3	ケアハウスフェリコ館	30	100%	100%
4	せんだんの杜短期入所生活介護事業所	16	95%	93.1%
5	せんだんの杜訪問介護事業所（障がい）	—	（休止中）	（休止中）
6	せんだんの杜居宅介護支援事業所	—	1,020(件) 他介護予防支援受託 120(件)	730(件) 他介護予防支援受託 97(件)
7	国見ヶ丘地域包括支援センター（予防）	—	1,548(件) 他総合事業 1,692(件)	1,296(件) 他総合事業 1,411(件)
8	杜の子ハウス（放課後等デイサービス）	10	90%	114.7%
9	遊杜家（放課後等デイサービス）	10	90%	116.8%
10	国見ヶ丘の家（放課後等デイサービス）	10	90%	101.4%
11	杜の工房（就労支援B型）	20	80%	100.0%
12	国見ヶ丘せんだんの杜保育園	99	105(名)	105(名)
13	国見ヶ丘せんだんの杜保育園分園	28	30(名)	30(名)
14	せんだんの杜地域子育て支援センター	—	200(件)	100(件)
15	せんだんの家（児童自立援助ホーム）	9	90%	80%
備 考	せんだんの杜訪問介護事業所（障がい） R3.10.1以降休止中			

令和5年度当初予算における「せんだんの杜」設備整備工事等について

1. せんだんの杜杜の工房移転に伴う、リベラ荘多目的ホール改築費用	
必要性	せんだんの杜杜の工房を移転し、事業規模の拡大と収支安定を図るため。
購入内容	建物改修工事一式
発注予定先	(株)スイッチオン他、複数相見積の上決定の予定。
予定価額	金8,000,000円
支払方法	一回払い
支払資金	積立資産

3. せんだんの杜ものうの取り組み

目 標	<p>1) 入居者・利用者・介護家族とのコミュニケーションを深め、一人ひとりが望む暮らし作りのためのサービス提供に取り組む</p> <p>2) 地域における福祉課題に対して、地域との協働・連携を意識した活動を実践し、社会貢献と新たなサービスの創造と実践に取り組む</p> <p>3) 職員一人ひとりが働きやすさや、やりがいを持てる職場環境の整備・改善を図り、職員の定着率向上に取り組む</p> <p>4) 職員一丸となり、経費削減に取り組むとともに、稼働率向上による収入の増加に対する意識を高め、安定した経営の基盤づくりに取り組む</p>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>①各種制度理解を深めるための学びの機会を設け、コンプライアンス遵守の徹底とサービスの質向上につなげる</p> <p>②新規加算取得のための体制整備、新規利用者獲得のための営業活動の強化に努め、収益増加に取り組む、合わせて経常的支出削減に努める</p> <p>③職場環境の改善、生活環境の快適性の保持のために、定期的な職場巡視チェックを実施する。また健康診断・ストレスチェック受検率 100%に向けた普及啓発を行い、健康の保持増進につなげる</p> <p>④各種災害や様々な感染症に対して、適切かつ迅速に対応すべく、定期的な学びの機会と実際を想定した訓練を実施し、対応強化に努める</p> <p>⑤施設建物および設備の老朽化対策を計画的に取り組む、維持管理に努める</p> <p>【地域公益活動】</p> <p>①運営推進委員会の定期開催する中で、地域課題の把握・共有を行い、地域住民と共に、社会資源の活用と公益的事業の展開による課題解決に努める</p> <p>②地域住民を対象とした、介護・福祉に関する勉強会や職場体験学習の機会を設け、地域の福祉力向上と更なる協力体制の強化に努める。</p> <p>③関係機関・団体、他法人等との関係性を強化し、連携・協働による地域公益活動に取り組み、住み慣れた地域での暮らしが継続できる支援を展開する</p>			
主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定				
別紙「令和5年度当初予算における「せんだんの杜ものう」設備整備工事等について」参照				
事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、令和5年1月末時点での利用率）				
No	事業所名	定員 (人)	令和5年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームファミリオ	50	98.5	94.9
2	地域福祉センター通所介護事業所(月～金)	30	78.0	77.1
3	ものう短期入所生活介護事業所	12	85.0	74.8
4	ものう訪問介護事業所	—	450 (時間)	443 (時間)
5	ケアハウスフェリカ	15	99.0	96.7
6	なかつやま第一通所介護事業所(月～日)	10	80.0	72.8
7	なかつやま認知症対応型共同生活介護事業所	9	99.0	93.9
8	うした通所介護事業所(月～日)	10	備考欄参照	74.5
9	うした認知症対応型共同生活介護事業所	9	備考欄参照	90.6
10	ものう居宅介護支援事業所	—	110 (件)	94 (件)
11	石巻市ものう地域包括支援センター	—	110 (件)	104.3 (件)
12	石巻市桃生地区第一放課後児童クラブ	40	20 (人)	20 (人)
13	石巻市桃生地区第二放課後児童クラブ	50	40 (人)	40 (人)
備 考	<p>地域福祉センター通所介護事業所は、R5.4.1より定員を25人から30人へ変更</p> <p>うした通所介護事業所は、R5.4.1休止、R5.4.30廃止予定</p> <p>うした認知症対応型共同生活介護事業所は、R5.4.30廃止予定</p>			

令和5年度当初予算における「せんだんの杜ものう」設備整備工事等について

1. 「せんだんの杜ものうした」建物解体及び更地工事	
必要性	せんだんの杜ものうした（GH、DS）廃止に伴う借地の明け渡しのため
整備内容	建物の解体撤去及び更地工事
発注予定先	2社以上による見積合わせを実施し、最低価格を提示した業者に発注予定
予定価額	11,990,000円（税込）
支払方法	1回払い
支払資金	積立資産（修繕、施設整備）を充当

2. 「特養ファミリオ」汚物除去機入替更新	
必要性	開設以来使用していた現機器が故障により修理不能（部品供給終了）となったため
整備内容	汚物除去機（1台）入替設置工事（既存機器撤去含む）
発注予定先	2社以上による見積合わせを実施し、最低価格を提示した業者に発注予定
予定価額	月額：25,000円（税込） 総リース料：1,500,000円
支払方法	5年（60か月）リース
支払資金	経常資金を充当

3. 「特養ファミリオ」機械浴槽（コンパクトチェアバス）導入	
必要性	老朽化したリフト浴を撤去し、ニーズ増による新規機械浴槽導入のため
整備内容	コンパクトチェアバス一式
発注予定先	日通リース&ファイナンス株式会社
予定価額	月額：57,420円（税込） 総リース料：5,512,320円
支払方法	8年（96か月）リース
支払資金	経常資金を充当

4. せんだんの里の取り組み

目 標	<p>1. 施設事業所の人員体制とサービス内容の見直しを行うと共に、各サービス種別に応じた機能を発揮することで組織の活性化と収益増を目指す。</p> <p>2. 事務費支出の圧縮、その他経費の節減により支出減を図る。</p> <p>3. 定期的な職場環境改善活動を実施し働きやすい環境、安心して過ごせる生活環境の整備を行う。</p> <p>4. 地域連携推進活動を促進し、社会貢献と広報・集客効果の発揮を目指す。</p>			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>1-1. 運営基準等を遵守しつつも人員配置の適正化を図り、効果的かつ効率的な体制整備を行う。</p> <p>-2. 各サービス種別に求められる機能に立ち返り、利用者のニーズを満たす質の向上を図ると共に、サービス利用の推進・向上による収益増を図る。</p> <p>2. 施設事業所の運営に係る必要経費について、過去の慣習にとらわれず抜本的な見直しを図ると共に、法人内のスケールメリットを活かしたさらなる支出圧縮を検証していく。</p> <p>3. 介護におけるICT（情報通信技術）機器の利用による情報共有・連携と情報活用を一層進め、介護等業務の効率化を図ると共に、介護分野における将来的なDXの可能性を検証する。</p> <p>【地域公益活動】</p> <p>4. 高齢者施設としての「ゼロ・コロナ」を目指しつつ、社会の変容による「ウィズ・コロナ」を踏まえた実習生等の受入れ及び地域交流事業等に取り組むと共に、オンライン等を活用したイベントの地域広報、ホームページや各種ソーシャルメディア等からの情報発信により、身近な施設づくりと地域交流を図る。</p>			
主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定				
事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、令和5年1月末時点での利用率）				
No	事業所名	定員 (人)	令和5年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	せんだんの里特別養護老人ホーム	160	97.5%	94.7%
2	せんだんの里ショートステイ (障がい福祉サービス空床利用型を含む)	34	78.2%	76.1%
3	せんだんの里デイサービス	30	73.0%	64.8%
4	せんだんの里国見ヶ丘3丁目デイサービス	10	(休止中)	55.5%
5	せんだんの里グループホーム	27	98.0%	95.3%
6	せんだんの里国見ヶ丘3丁目グループホーム	9	100.0%	100.0%
7	せんだんの里居宅介護支援事業所 (介護予防支援受託分を含む)	—	102.0(件)	100.8(件)
備 考	<p>・せんだんの里ショートステイ 空調工事により定員変動あり 令和5年3月～8月の期間は23人</p> <p>・せんだんの里国見ヶ丘3丁目デイサービス 令和4年11月以降休止</p>			

5. せんだんの館の取り組み

目 標	1. 収入の安定に繋がるマネジメントの実施と収益の強化 2. 全職員が役割と責任をもって業務遂行にあたることのできる職場風土の醸成 3. 地域団体や住民との協働関係を築き、地域ニーズに即した地域公益的事業の検討や実践			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> 1 - 1. 空床期間短縮の強化 ①入居申込者に対する早期介入・早期契約の実施により7日以内の入居調整 ②嘱託医との連携による重度化対応ケアと看取りケアの提供 ③居宅介護支援事業所や医療機関、その他関係機関とのパイプの強化とマーケティング活動 - 2. 社会情勢に応じて適切な増収を図る ①食費の値上げ ②個人電化製品持込料の徴収 ③預り金等管理料の値上げ 2. 法人中期行動計画のポイントを踏まえた利用者支援並びに働きやすい職場環境の向上 ①自発的に行動する人材の育成と組織力の強化 ②働きやすい職場づくりの一助として、安全推進委員を中心とした5S活動の強化 ③腰痛、メンタルヘルスなどの労働災害の予防として産業医との連携を強化・活用 <p>【地域公益活動】</p> 3. 地域連携を考えるワーキングでは、コンセプトの再確認とロジックモデルを見直し、年間計画にもとづいた実践 ①認知症カフェ「オレンジ すまいる」の実施（ハイブリッド型） ②大学生、児童クラブとの協働による「子ども食堂」「学習支援」等の開催 ③おたっしゅだよりの発行（年2回）やブログ等を活用した情報発信 ④福祉教育（東北福祉大学・宮城学院女子大学・各種専門学校・近隣小中高校等）の実践 ⑤国見ヶ丘地域包括支援センターと協同でZOOMを活用した健康教室（口腔・栄養）を開催			
主な修繕・改修等工事等、備品等購入の予定				
別紙資料参照				
事業別稼働目標と前年度実績の比較（※前年度実績は、令和5年1月末時点での利用率）				
No	事業所名	定員 (人)	令和5年度目標 (%)	前年度実績 (%)
1	特別養護老人ホームせんだんの館	100	98.4	98.0
2	せんだんの館ショートステイ	20	90.0	76.4
3	せんだんの館デイサービス	40	80.0	62.5
4	せんだんの館居宅介護支援事業所	-	70人/月(件)	66人/月(件)
備 考				

令和5年度当初予算における「せんだんの館」設備整備工事等について

1. (車両購入) 福祉車両の更新について	
必要性	開設当初の車両のため、経年劣化によりリフトの故障が頻回のため
購入内容	①車両本体ハイエース4WD 10人乗り (車いす仕様) ②付属品 ③メンテナンス
発注予定先	トヨタカローラ宮城 (株)
予定価額	金4,251,350円 (非課税)
支払方法	60回払 (予定月額リース料67,000円)
支払資金	経常資金

2. (老朽整備) 火災受信機更新工事	
必要性	既存の火災受信機が稼働以来18年経過しており、故障歴がある。一部保守部品の製造が終了しており、修理対応は難しい状況となっている。
購入内容	火災受信機
発注予定先	ニッタン
予定価額	金10,500,000円 (税別)
支払方法	96回払 (予定月額リース料126,000円 税別)
支払資金	経常資金

6. 認知症介護研究・研修仙台センターの取り組み

目 標	東北福祉大学を母体とする関連研究施設及び関連福祉施設等との連携を深めながら、1. 研究事業、2. 研修事業、3. 運営事業費補助金による事業、4. その他事業を実施する。			
重 点 項 目 と 主 な 内 容	<p>【制度に基づく取り組み】</p> <p>1. 研究事業 研究事業補助金等による研究事業 (1) 研究調査 科学研究費助成事業／運営事業費における研究事業 (2) 研究の取り組み 研究事業の倫理的観点からの検討（倫理審査委員会）／研究資料の収集・整理／研究成果報告会の開催／3センター合同研究成果報告会の開催 (3) 研究成果の広報 DCnet 等による各研究の成果公表</p> <p>2. 研修事業 都道府県等の研修委託費等による研修事業 (1) 認知症介護指導者養成研修の実施 第1回：6月26日～9月1日 第2回：10月23日～12月22日 (2) フォローアップ研修の実施 第1回：9月25日～9月29日 第2回：2月12・13・15・16・19日</p> <p>3. 運営事業 運営事業補助金による事業 (1) センター運営協議会・外部評価委員会の開催 (2) 認知症介護研究・研修センター全国運営協議会の開催 (3) 認知症介護セミナーの開催（法人における協働事業として） (4) 認知症介護教育・研修の活動支援 (5) 地域住民を対象とした健康講座の開催 (6) 認知症介護指導者オンライン情報交換会の開催</p> <p>4. その他事業 (1) 認知症介護基礎研修 eラーニング運用事業 (2) センター企画研修事業（認知症を学ぶ30分ナイトセミナー、著作権等知的財産権セミナー） (3) 仙台市認知症カフェ支援事業、仙台市認知症ピアサポート活動支援業務、宮城県認知症カフェ普及促進研修事業 (4) 厚生労働省委託事業「高齢者虐待の実態把握等のための調査研究一式」</p> <p>【地域公益活動】</p> <p>1. 土曜の音楽カフェ♪（認知症カフェ）の企画・運営（毎月第1土曜日） 2. おれんじドア運営の支援</p>			
主な修繕・改修等工事、備品等購入の予定				
研修別目標と前年度実績の比較				
No	研 修 名	定員 (人)	令和5年度目標 (人)	前年度実績 (人)
1	第1回認知症介護指導者養成研修	20	18	14
	第2回認知症介護指導者養成研修	20	18	15 (※)
2	第1回フォローアップ研修	20	18	6
	第2回フォローアップ研修	20	18	9

(※) うち1名は新型コロナウイルスの影響により受講休止（令和5年度に再受講）

7. 組織体制
別紙のとおり

8. 人員体制
別紙のとおり